

クリエイター等育成プログラム（短編アニメーション分野）
「New Way, New World: Program for Connecting Japanese Animators to the World」

令和7年度 第二期 公募枠アーティスト 募集要項

概要と目的：

CG-ARTS（公益財団法人画像情報教育振興協会）は、日本芸術文化振興会からの委託事業として「文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター等育成プログラム（委託型）」の短編アニメーション分野における育成プログラム

「New Way, New World: Program for Connecting Japanese Animators to the World」（略称：NeW NeW ニューニュー）を実施します。

本プログラムでは、国内の有望な短編アニメーション作家のうち、海外進出を強く意識しており、これから海外で活躍する可能性がある作家およびその新作企画を募ります。

審査を経て採択された作家に対しては、約10ヶ月間にわたって、各分野のプロフェッショナルによるコーチングを通じた新作企画のブラッシュアップ、ピッチのためのトレーニング、各種レクチャー・アドバイザープログラムへの参加に加え、国内外のアニメーション映画祭への渡航支援によるネットワーキングの機会を提供します。

それらの一連の育成プログラムを通じて、世界で活躍するアニメーション作家としての技能習得と海外への関係性を構築することができます。

なお、第二期からは、作家とプロデューサーとの協働をより重視したプログラム内容となります。アーティストがプロデューサーを伴わずに応募することももちろん可能ですが、プロデューサーを伴った応募に対しては審査時に加点します。

プロデューサーを伴わない採択者については、育成期間中にNeW NeW事務局側でプロデューサーとのマッチングの機会を設ける予定です。

これらの取り組みによりグローバルに活躍できる日本のアニメーション作家を増やし、ひいては本分野の国際的プレゼンスの向上を目指します。

※ 短編アニメーション：30分未満のアニメーション作品を指します。

応募者の条件：

以下の3つの条件をすべて満たす者が対象となります。

1. 自身が監督等（深く制作に関わった作品を含む）を務めるアニメーション等映像作品の制作経験があること
2. これから制作したい短編アニメーション作品の企画アイデアがあり、第三者によるアドバイスを柔軟に受け止めて企画開発を行う意思があること（制作に入る前の段階が望ましいが、制作途中の企画も可）
3. 日本国籍又は日本の永住資格を有すること

※以下の条件を満たす応募者は審査において加点されます（満たさない場合でも応募は可能です）。

- ・国内の短編アニメーション分野で映画祭やコンテストでの選出歴があること（加点1）。
- ・海外の映画祭やコンペティションで入選や受賞の実績があること（加点2）
- ・過去、メディア芸術クリエイター育成支援事業・新進芸術家の海外研修など文化庁事業での採択実績があること（加点2）。
- ・プロデューサー（会社所属・フリーランスを問わない）と組んでの応募（加点2）。

育成プログラム内容（予定）：

- ・作家の特性に合わせたコーチングプログラムの設定
- ・新作企画に対するコーチング（脚本やビジュアル作りに対するアドバイス含む）
- ・ピッチ資料制作や訓練、実際のピッチ機会の提供
- ・育成対象者のニーズにあわせた国内外のプロフェッショナルによる企画へのアドバイス
- ・国内外専門家によるレクチャーやワークショップ受講
- ・国内外映画祭等への参加による作品発表やピッチ機会、ネットワーキング機会の提供
- ・新作の企画開発に関わる費用の一部支援（上限140万円）

※採択者は、2025年11月より通期のコーチング・新作企画開発作業に加え、月1回のミーティング（進捗報告会）への参加、さらには、下記の国内外での映画祭等への参加が必須となります。「国内外での映画祭等」については現在のところ、以下の映画祭や都市への派遣を予定しています。スケジュール的に派遣が可能な応募者を優先しますので、応募の際にはご注意ください。（それぞれへの参加の可否は一次選考通過者に個別でヒアリングを行います。）

2025年11月21日～25日 新千歳空港国際アニメーション映画祭

2026年2月20日～26日 新潟国際アニメーション映画祭（新潟アニメーションキャンプ）

2026年6月初旬～中旬 ザグレブ国際アニメーション映画祭・アヌシー国際アニメーション映画祭・パリ

2026年8月 ひろしまアニメーションシーズン

※企画開発費については、応募資料内の予算案および新作企画のステータスを元に、育成対象者と事務局と協議のうえ、用途および金額を決定します。一部の費用は、アーティスト自身の活動経費に充てることも可能です（規定あり）。なお、企画開発に関わる費用について、国が支出する他の補助金・助成金と同じ項目に重ねての支出は原則できません。

※プロデューサーを伴っての応募の場合、プロデューサー旅費や企画開発費の支出対象はアーティストとなります。プロデューサーに対しては、基本的に旅費や企画開発費の金銭的支援は行いませんので、ご了承ください。

※ 不明点や懸念事項がある方は事務局へお問い合わせください。

他の関連事業との重複応募について

- ・本事業は、アーティスト自身のトレーニングおよび新作の「企画開発」段階に対する支援を行うものです。それゆえ、「制作」以降のフェーズに対する文化庁や日本芸術文化振興会等の他の支援事業について、**同じ企画を同一年度中に応募することはできません（例：文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業、日本映画製作支援事業）**。なお、本事業に採択された企画について、次年度以降にこれらの事業に応募することを妨げるものではありません。
- ・ 不明点や懸念事項がある方は事務局へお問い合わせください。

アドバイザー（五十音順）

アレックス・デュドク・デ・ヴィット（イギリス／アニメーション評論、カンヌ監督週間セレクト）

エマニュエル＝アラン・レナール&ピエール・パウサッロン（フランス／プロデューサー、Miyuプロダクションズ）

クリス・ロビンソン（カナダ／アニメーションライター、オタワ国際アニメーション映画祭アーティストック・ディレクター）

土居 伸彰（日本／ひろしまアニメーションシーズンプロデューサー、株式会社ニューディアー代表、NeWNeW総合プロデューサー）

ドラシュコ・イヴェジッチ（クロアチア／アニメーション監督、脚本家、プロデューサー、声優、Adriatic Animation創設者）

ファビアン・ドリーホースト（ドイツ／アニメーション・VRプロデューサー（Fabian & Fred））

山村 浩二（日本／アニメーション作家、東京藝術大学大学院教授）

ルース・グロージャン（フランス／ディストリビューター（Miyuディストリビューション））

ルパート・ポッテンバーク（カナダ／エディター、ビジュアルアーティスト、プロデューサー、ファンタジア映画祭アニメーションプログラマー）

採択人数：

3名程度

採択者の育成期間：

2025年11月1日（土）～2026年8月31日（月）

※事務局と採択者との合意が取れた場合、多少期間を短縮・延長をすることがあります。

募集期間：

2025年6月30日（月）～7月18日（金）17:00（日本時間）

※2026年初頭にも募集期間（第3期）が設けられる予定です。

選考の流れ：

アドバイザーのコメントや評価をふまえ、事務局が決定します。

1) 事務局による書類選考を経て一次審査通過者を選出（7月下旬に通知予定）。

2) 8月初旬～中旬（予定）に二次審査としてオンライン面談等（英語で実施、通訳によるサポートあり）および選考会議を経て、採択者には8月下旬（予定）にメールにて内定の通知をします。なお、一次選考通過者にかぎり、最終的な採択・不採択を問わず、その理由をアドバイザーからの意見を抜粋してお伝えします。

応募方法：

Google Drive、Box、Dropbox等のファイル共有サービス、もしくはご自身のウェブサイト等に下記の提出資料をアップロードした上で、エントリーサイトから応募してください。

1) エントリーフォームと資料のアップロード

以下のエントリーフォームに、応募者基本情報（氏名、作家名、年齢、居住地、連絡先等）および資料のアップロードURLをご入力ください

<エントリーフォーム>

※公募開始日の6月30日（月）にオープンします。（締め切り：7月18日（金）17時）

2) 応募資料について

以下の情報を過不足なく入れたPDFを作成し、提出すること。

- 「資料A：アーティスト情報・ポートフォリオ」「資料B：新作の企画書」を日／英それぞれ作成すること。

- 形式・枚数自由。

- 提出するPDFは1ファイルあたり10MB以内にまとめること。

（和文10MB以内、英文10MB以内）

資料A：アーティスト情報・ポートフォリオ

以下の要素を必ず入れること。

- 自身のプロフィールテキストおよび写真。

- 上映歴・受賞歴。

- 過去作のポートフォリオ（作品画像・概要とともに視聴URL等を埋め込むこと）

- 自身のユニークさのアピール。

ビジュアルおよび言葉によって、応募者自身のユニークさをアピールしてください。

※プロデューサーを伴っての応募の場合、プロデューサー自身のポートフォリオも入れてください。

資料B：新作の企画書

以下の構成で資料を作成すること。

- 表紙（作品タイトルおよびイメージビジュアル）
- プロジェクト概要（作品タイトル、主なスタッフリスト、作品の長さ、あらすじ）
 - ※物語性のない作品の場合は、あらすじではなくコンセプト概要文も可。
 - ※原作がある場合、原作の紹介（および著作権が取得済かどうか）も入れること。
- 制作意図（英文500-1000 words程度）
 - ※本企画を着想した経緯や制作の意義（あらすじとは異なります。）
- 技術上・制作上の特徴（英文500-1000 words程度）
 - ※なぜこの手法やグラフィックスタイルが必要なのか。
 - ※ビジュアル面・技術面・演出面でいかにユニークであるか。
- メインスタッフのプロフィール（監督、プロデューサー、作曲家、制作スタジオ等）
 - ※決定済みのみならず、想定される（依頼したいと考えている）スタッフでも構いません。
 - ※監督については「資料A」と重複しても構いません。
- 予算案および資金調達の方法
 - ※完成までにかかる費用を、可能な範囲で詳細に記してください。
 - ※想定される資金調達方法（自己資金、補助金・助成金、クラウドファンディング等）
- イメージ画像
 - ※作品の完成イメージがわかる画像を数枚入れてください。
- その他参考資料
 - ※新作のための補足資料。
 - ※脚本、絵コンテ、テストアニメーション（もしくは現段階での完成映像）がある場合は、エントリーフォームにダウンロードURLを記載してください。
 - ※すべての情報は日本語と英語両方で提出すること。英語に自信がない場合は機械翻訳等を活用ください。
 - ※資料は読みやすくまとめてください。

応募に関する注意事項

- ・受付期間を過ぎての提出は一切認められません。また、受付期間終了後に提出書類の修正や再提出を行うことはできません。
- ・提出資料は返却いたしません。また受領の連絡はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・企画書や資料の制作および送付に関する費用は応募者の負担です。
- ・選考の経過および選考結果に関するお問い合わせはお受けできません。
- ・本事業では、制作された作品の展覧会開催は予定しておりません。
- ・暴力団等の反社会的勢力やその関係者からの応募は受け付けません。
- ・完成した作品の著作権は作者に帰属します。
- ・完成した作品は、文化庁が実施する事業の広報の範囲に限り複製、上映、公衆送信（放送）、自動公衆送信（ウェブサイトの公開）、展示、翻訳等の行為を無償でさせていただくことがあります。

個人情報の取り扱い

応募者の個人情報の考え方を以下の通りに定め、これを遵守することにより個人情報の漏洩、流出等の防止に注意を払います。

1. 個人情報の利用目的

応募者の個人情報は、以下の利用目的の範囲内でのみ利用させていただきます。

- (1) 選考結果の通知
- (2) 応募企画について確認事項のご連絡
- (3) 本事業の向上に役立てるための統計分析
- (4) 採択企画のマスコミおよびウェブサイトへの公表（作品、氏名、所属、他）

上記目的のほか、ご本人の同意を得た範囲内で利用させていただく場合があります。

2. 第三者への開示・提供

応募者の個人情報を、ご本人の同意なく利用目的の達成に必要な範囲内における業務委託先以外の第三者に開示・提供いたしません。ただし、人の生命、身体又は財産の保護のために開示の必要があり、ご本人の同意を得ることが困難である場合、また法令により個人情報の開示が求められた場合はこの限りではありません。

3. 安全管理

応募者の個人情報は、適切な方法で管理・保護に努めます。上記「個人情報の取扱」の内容は、応募をもって応募者本人および応募グループの同意を得られたものとさせていただきます。

主催：

文化庁

独立行政法人日本芸術文化振興会

CG-ARTS（公益財団法人画像情報教育振興協会）

問合せ先：

クリエイター育成プログラム（短篇アニメーション）

「New Way, New World」事務局 [CG-ARTS 内]

Mail:kikin-an@cgartarts.or.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 1-12-22 コンワビル7F

TEL：03-3535-3501

※受付時間：平日（祝祭日は除く）10:00～17:00